日本成長戦略会議（第8回）がもたらす企業知財業務の構造変化と対応策

COST CENTER
（コストセンター）

VALUE DRIVER
（必須の評価項目・勝ち筋の根拠）

知財の役割転換
(IP Role Transformation)

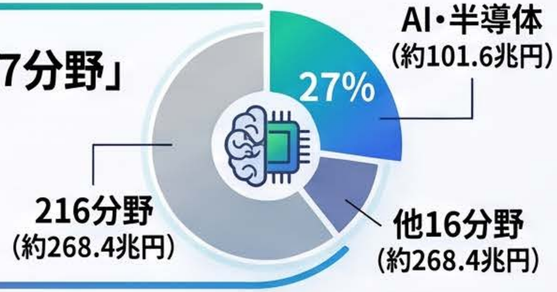
知財を取り巻く環境変化と要件
(ENVIRONMENT CHANGES & REQUIREMENTS)

大型補助金・国プロ採択における「知財戦略」の要件化

先行技術調査（IPL・FTO）や「勝ち筋」の提示が補助金獲得の実質条件となります。

官民投資370兆円超「戦略17分野」での知財取得・保護強化

AI・半導体を中心に、国費投入成果の適切な知財化が求められます。



ガバナンス・有価証券報告書レベルでの「知財開示強化」

CGコード改訂に伴い、成長投資としての知財投資ロジックとKPIの説明が必要です。

企業知財部門が今取り組むべき推奨アクション
(RECOMMENDED ACTIONS)

【短期（～2027年3月）】

17分野との対応表作成と知財申請パッケージの整備

自社テーマの「勝ち筋」資料化、国プロ契約条項の点検、AI利用規程の整備を進めます。

【中期（5年間）】

標準化・経済安全保障の一体運用と知財業務のAX

標準戦略対応審査の活用、出願非公開等の三重管理、知財実務へのAI導入を推進します。

Gemini Notebook